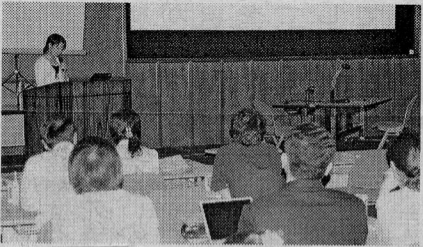


不妊や不育症

テーマに講演

岡山大病院助産師ら

流産、死産を繰り返す不育症や不妊症の理解を深める講演会（県不妊専門相談センターなど主催）が二十二日、岡山市奉



産による悲しみを癒やす方法として「自分の気持ちにふたをせず、悲しみを表に出す必要がある」と説明。「抑うつ症などになる可能性もあり、家族が話を聞いて支えてあげてほしい。医療関係者も心のケアに努めなければ」と述べた。

川崎医科大病院泌尿器科の永井敦医師による講演「はじめての男性不妊外来で」もあった。

（民直弘）